

株主の皆様へ



株主の皆様には、平素より格別のご愛顧とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに、当社グループの2022年連結会計年度（2022年1月1日から2022年12月31日まで）の事業概況をご報告申し上げます。

当連結会計年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響は残るものの、行動制限が緩和され経済活動が正常化に向かう中、景気は緩やかながら持ち直しの動きがみられました。当社グループではお客様接点の強化に努め、DX推進に役立つ提案を行いました。

この結果、売上高は8,610億22百万円（前年同期比1.1%増）となりました。利益につきましては、営業利益547億68百万円（前年同期比1.9%減）、経常利益566億39百万円（前年同期比1.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益400億22百万円（前年同期比0.2%増）となりました。

期末配当金につきましては、13期連続の増配となる1株当たり125円とし、ご支援を賜った株主の皆様への利益還元を実施させていただきます。

次期につきましては、先行き不透明感はあるものの、景気は緩やかに回復していくことが期待されます。このような環境下において、お客様に寄り添いお困りごとを解決できるよう、お客様のIT活用を支援してまいります。

当社グループでは今後も「ミッションステートメント」の具現化に努め、皆様の信頼に応えられるよう経営改革を進めてまいります。

株主の皆様にはより一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2023年3月
代表取締役社長 大塚 裕司

〈2022年より新会計基準を適用〉

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を2022年連結会計年度の期首から適用しており、2022年の売上高は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。これに伴い、当連結会計年度における売上高は、従前の会計処理と比較して減少しております。なお、2022年の増減額及び増減率の算定における前年同期の金額には当該会計基準等を適用していません。

本「大塚商会だより」においては、参考情報として、2021年12月期に当該会計基準等を適用したと仮定した場合の「参考増減率」を併記している箇所があります。